

編 集 後 記

今回も8編の玉稿をいただいた。筆者は骨折での入院歴があるが、当時は回復までの時間が非常に長く感じられた。島根大の宮城先生、馬庭先生の骨代謝に関する論文を拝読し、この分野の研究がさらに進み治療成績の向上、入院期間の短縮などに繋がることを期待したい。

松原先生の食道癌、森脇先生の余剰検体利用は、病院のシステム運用と深く関わる部分があり、効率的な運用にはなお様々な問題点もあると思われる。今後の報告が待たれるところでもある。

成相先生の論文はコロナ感染症が小児皮膚感染症と関連するという内容で、筆者には目からウロコともいうべき内容であった。垣羽先生、中島先生、長見先生の症例報告と共に、興味深く拝読した。今後の各先生方の活躍を祈念したい。

(H.K)

島根医学編集委員

浅野博雄，貴谷 光，児玉和夫，大居慎治，
齋藤寛治，細田眞司，小阪真二，田邊一明，
小林祥泰，椎名浩昭，古和久典

島 根 医 学

令和7年6月1日発行

発行者 島 根 県 医 師 会

編 集

松江市末次町

編集者 浅野博雄

発行所

松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所